

# 平成25年度全国学力・学習状況調査分析結果

平成25年12月24日  
下野市教育委員会

## 1 はじめに

下野市教育委員会では、平成25年度の全国学力・学習状況調査の概要について、第一段階として、9月4日付けで速報をお知らせしました。

今年度も第二段階として、下野市全体としての結果を分析し、公表いたします。

各学校や御家庭におかれましては、この分析結果を今後の学習指導の工夫改善や児童生徒の学習意欲、学習習慣の向上に役立てていただきたいと思います。

## 2 下野市全体の傾向

### (1) 学力調査の結果より

#### ① 学力調査について

学力調査	下野市		栃木県 (公)	全国 (公)
調査対象	小学校 12校	631人	※ 18,131~18,136人	※ 1,108,075~1,108,272人
人数内訳	中学校 4校	617人	※ 16,800~16,809人	※ 1,026,851~1,027,458人

※国語A・B，算数・数学A・Bそれぞれで参加人数が異なるため

□ A問題(主として「知識」に関する問題)

■ B問題(主として「活用」に関する問題)

◇ 国語A・Bの領域等 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」  
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※国語は小学校，中学校共通

◆ 算数A・Bの領域 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

◆ 数学A・Bの領域 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」

#### ② 全体比較

### 平成25年度全国学力・学習状況調査(学力調査)結果 下野市と全国平均正答率との比較【H19～22，25全体比較】

※ H23，24は抽出調査

◎大きく上回っている(5ポイント以上)

○上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)

－同じ(±1ポイント未満)

▽下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)

▼大きく下回っている(5ポイント以上)

小学校	H19	H20	H21	H22	H25	中学校	H19	H20	H21	H22	H25
国語A	○	○	○	○	○	国語A	◎	○	○	○	○
国語B	◎	○	○	－	○	国語B	◎	◎	◎	◎	◎
算数A	○	○	－	○	○	数学A	◎	◎	◎	◎	○
算数B	◎	○	－	○	○	数学B	◎	◎	◎	◎	◎

平成25年度の全国学力・学習状況調査の下野市の全体の結果（国語、算数・数学）は、小学校、中学校ともに、すべての領域で、全国平均正答率を上回る結果となった。

**【小学校の全国学力調査全体結果について】**

小学校は国語A B，算数A Bともに，数ポイント全国平均正答率を上回っていた。小学校の今年度（平成25年度）の平均正答率（難易度）を過去4年間（平成19年度～22年度）と比較すると，国語A Bは下野市，全国ともに最も低く，算数A Bは，下野市が平成19年度に次いで2番目に高く，全国は算数Aが3番目，算数Bが2番目に高い結果となった。

今年度の市と全国平均正答率との差（上回り）を過去4年間（平成19年度～22年度）と比較すると，国語A（3番目に上回っている），国語B（2番目に上回っている），算数A（1番上回っている），算数B（4番目に上回っている）となっていた。今年度の小学校の学力調査の結果は総合的に，やや全国平均を上回っていると見ることができる。

全体的には平成19年度から22年度まで，年々全国平均との差が縮まる傾向が見られたが，今年度はその傾向が止まったと捉えられる。しかし，中学校の結果と比較すると，小学校においては，さらなる学力向上の必要性があると言える。

**【中学校の全国学力調査全体結果について】**

中学校は国語B，数学Bが全国平均正答率を大きく上回り，国語A，数学Aが全国平均正答率をやや上回っており，国語，数学ともB問題の方が良好な結果であった。

今年度（平成25年度）の平均正答率（難易度）を過去4年間（平成19年度～22年度）と比較すると，国語A Bは下野市，全国ともに3番目に高く，数学A Bは，下野市が最も低く，全国は数学Aが3番目に高く，数学Bが最も低かった。

今年度の市と全国平均正答率との差（上回り）を過去4年間（平成19年度～22年度）と比較すると，国語Aが4番目に上回っており，国語B，数学A Bは，最も少ない差となった。

全体的には上回ってはいるが，今後さらに基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて努力していく必要がある。

③領域別比較

**全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較【H25 領域別比較】**

◎大きく上回っている（5ポイント以上）

○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

－同じ（±1ポイント未満）

▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語A	国語B	小学校算数	算数A	算数B
話すこと・聞くこと	◎	－	数と計算	○	○
書くこと	○	○	量と測定	○	○
読むこと	◎	○	図形	◎	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	－	数量関係	○	○

中学校国語	国語A	国語B	中学校数学	数学A	数学B
話すこと・聞くこと	○	△	数と式	○	○
書くこと	◎	◎	図形	◎	◎
読むこと	◎	◎	関数	○	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	－	資料の活用	○	◎

### 【小学校の全国学力調査結果について】

国語は、A問題は、全国の平均正答率をどの領域も上回っていた。特に国語のA問題では、4領域の内「話すこと・聞くこと」が約5ポイント上回っていた。B問題は、「書くこと」が約2ポイント、「読むこと」が、約4ポイント上回っていたが、「話すこと・聞くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、ほぼ全国平均正答率と同じであった。

算数はA・B問題ともに、やや全国平均正答率を上回っていた。「数と計算」、「図形」では、A問題の方がB問題よりも上回っていた。「量と測定」と「数量関係」は、A・B問題ともにほぼ全国比と同じであった。

### 【中学校の全国学力調査結果について】

国語は、B問題の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」がほぼ全国平均正答率と同じである以外は、どの領域も全国の平均正答率を上回っていた。

国語はA・B問題合わせて6領域中、B問題の2領域「書くこと」「読むこと」で5ポイント以上全国平均正答率を上回っていた。

数学はA・B問題ともに、やや全国平均正答率を上回っていた。特に「図形」は、B問題で約9ポイント以上、全国平均正答率を上回っていた。

## ④国語、算数・数学の課題（概要）

### 国語

小・中学校どちらも、国語A Bともに全国平均正答率を上回っているが、B問題よりもA問題の方が、全国平均正答率の上回り差が少ない。

平成19年度～22年度と平成25年度の5年間で全国比（上回り差）を比較すると、小学校A問題（3番目に高い）、B問題（2番目に高い）、中学校A問題（4番目に高い）、B問題（5番目に高い）となった。したがって、総体的には中学校の上回り差が少なくなっていた。

領域別には、特に以下のような課題が見られた。

#### 【小学校】

##### 《話すこと・聞くこと》

国語Bの1二「助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する」問題が、1.9ポイント全国平均正答率を下回っていた。相手の立場や状況を感じ取って聞くことに課題がある。

##### 《書く能力》

国語Bの2二「【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く」設問や、2三「複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く」設問は、全国平均正答率は上回っているが、正答率が低く（正答率2二27.1%、2三22.5%）、児童にとって難しかったようである。目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書いたり、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

##### 《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

国語Aの1一（3）「漢字を読む（採集）」の設問と、1二（2）「漢字を書く（停車）」の設問が、全国平均正答率よりも低かった。特に1一（3）は全国平均正答率を15.6ポイントも下回った。1二（2）は1.9ポイント下回った。漢字の読み書きは、今年度もにやや課題がある。

また、「ことわざの意味を理解する（石の上にも三年）」の設問は、全国平均正答率を1.2ポイント下回っていた。もう一問同じ設問があったが（急がば回れ）、こちらは全国平均正答率を3.6ポイント上回っていた。いろいろなことわざの意味を理解することに課題がある。

### 【中学校】

#### 《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

国語Aの8二2「漢字を読む（風刺）」の設問が、全国平均正答率を2.7ポイント下回った。漢字の読みは、今年度もやや課題がある。

また、国語Aの8七1「『かすみ』や『雲』のように見えたものを本文中から抜き出す設問が、全国平均正答率を1.0ポイント下回った。比喻を用いた表現について理解することに課題が見られた。

全国平均正答率は上回っているが、国語A8三ア「適切な語句を選択する（閉口）」設問は、5割程度の正答率であり、AB問題の全設問中最も低い正答率であった。語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは、毎年度の課題として挙げられている。

## 算数・数学

小・中学校どちらも、算数・数学ABともに全国平均正答率を上回っているが、特に中学校の全国平均正答率の上回り差は、過去と比べると少ない。

平成19年度～22年度と平成25年度の5年間で全国比（上回り差）を比較すると、小学校A問題（最も高い）、B問題（4番目に高い）、中学校A問題（最も低い）、B問題（最も低い）となった。したがって、国語同様、総体的には中学校の上回り差が少なくなっていた。

領域別には、特に以下のような課題が見られた。

### 【小学校】

#### 《数と計算》

算数Bの1（2）「三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く」設問が、1.4ポイント全国平均正答率を下回っていた。最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述することに課題がある。この課題は、平成22年度も挙がっていた。

#### 《量と測定》《数量関係》

算数Bの2（3）「示された実験の結果から、ふりこの長さとも10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く」設問が、1.6ポイント全国平均正答率を下回っていた。この設問は3割程度の正答率であり、AB問題の全設問中最も低い正答率であった。表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述することに課題がある。

### 【中学校】

#### 《数と式》

数学Aの1（1）「 $5/8 \times 3/4$ の計算をする」設問が、0.4ポイント全国平均正答率を下回っていた。本設問は小学6年生の内容であり、小学校での分数の乗法の計算について課題がある。

#### 《関数》

数学Aの9「 $y$ が $x$ の関数である事象を選ぶ」設問が、3.4ポイント全国平均正

答率を下回っていた。この設問は1割程度の正答率であり、A B問題の全設問中最も低い正答率であった。関数の意味の理解に課題がある。

また、数学Aの10(3)「比例の表からグラフを選ぶ」設問が、0.5ポイント全国平均正答率を下回っていた。比例の表とグラフの関係の理解に課題がある。

《資料の活用》

数学Aの15「大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める」設問が、4.0ポイント全国平均正答率を下回っていた。簡単な場合について確率を求めることに課題がある。

## (2) 学習状況調査の結果より

### ①学習状況調査について

学習状況調査		下野市	栃木県(公)	全国(公)
調査対象	小学校12校	631人	18,134人	1,108,234人
人数内訳	中学校4校	617人	16,801人	1,070,800人

質問数	小学校、中学校ともに62問(共通項目)
回答方法(主に)	4つから選択 1 している(当てはまる) 2 どちらかといえばしている(当てはまる) 3 あまりしていない(どちらかといえば、当てはまらない) 4 全くしていない(当てはまらない)
質問内容	小学校、中学校ともに同じ内容 ○基本的な生活習慣 ○学習時間等 ○国語、算数・数学の学習状況 ○学習に対する関心・意欲・態度 ○学校生活等 ○家庭でのコミュニケーション等 ○自尊意識・将来に関する意識 ○規範意識等 ○地域との関わり・社会に対する興味・関心 ○学習状況等

今年度の学習状況調査(児童・生徒質問紙)の結果は、小学校では共通項目62項目中15項目で全国・県平均を上回っていた。中学校では共通項目62項目中54項目で全国・県平均を上回っていた。

小・中学校とも共通して、「朝食」「1日あたりの勉強時間(平日、土日)」「家の手伝い」「家での計画的な勉強」「自分の考えの説明・文章表現」「国語の文章問題の解答」「算数・数学の勉強が好き」「算数・数学の問題の解法の工夫」等について、よい傾向が見られた。

### ②良好な面

学習状況調査の下野市の結果を全国、県と比べて、小学校中学校ともに上回っていた質問内容は、次のとおりであった。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	97.3	96.3	95.6	93.8
(12)	普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか※2時間未満	74.7	71.8	82.1	72.5
I(15) II(13)	学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか※2時間	28.1	27.1	49.2	36.5

Ⅲ (23)	以上				
I (16) Ⅱ (14) Ⅲ (24)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか※2時間以上	31.0	25.2	57.5	40.6
I (25) Ⅱ (22) Ⅲ (32)	家の手伝いをしていますか	82.9	80.5	67.6	64.5
I (29) Ⅱ (24) Ⅲ (34)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.9	58.9	50.9	44.5
I (51) Ⅱ (50) Ⅲ (59)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	33.8	32.1	34.0	31.8
I (51) Ⅱ (50) Ⅲ (59)	※難しいと思わない・どちらかといえば思わない 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	76.3	67.8	73.8	66.1
I (52) Ⅱ (51) Ⅲ (60)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか ※難しいと思わない・どちらかといえば思わない	41.4	40.2	35.8	31.5
I (54) Ⅱ (53) Ⅲ (63)	国語の勉強は大切だと思いますか	94.0	91.0	92.0	88.4
I (67) Ⅱ (61) Ⅲ (71)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	70.7	69.8	82.3	73.0
I (73) Ⅱ (62) Ⅲ (72)	※最後まで解答を書こうと努力した 算数・数学の勉強は好きですか	72.6	66.2	58.7	55.5
I (80) Ⅱ (69) Ⅲ (79)	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	82.2	79.7	77.4	66.9
I (83) Ⅱ (77) Ⅲ (82)	今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解きましたか ※最後まで解答を書こうと努力した	75.1	74.4	51.9	44.9

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計  
または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計  
太字の質問番号は、平成22年度も上回っていた質問

### ③課題とされる面

学習状況調査の下野市の結果を全国及び県と比べて、小学校中学校ともに下回っていた質問内容は、なかった。

